

# 金属建材メーカーのハウゼコ 技術セミナーを開催 自社の品質検査体制強調

金属製建築材料メー

カーのハウゼコ（本社  
・大阪府中央区、社長  
・神戸睦史氏）はこの  
ほど、東京・市ヶ谷の  
TKP市ヶ谷カンファ  
レンスセンターで「ハ  
ウゼコ技術セミナー」  
を開催した。

ハウゼコは1964  
年設立。換気棟役物を  
手掛けるメーカーは40  
社強あるが、屋根役物  
・壁役物までカバーし  
ているのは2〜3社し  
がなく、同社はそのう  
ちの一つ。年間5千種  
類、1200万ピース

を出荷し、水切りでは  
国内1位。内製化率が  
99%と自社での製造に  
こだわる。兵庫県に加  
西工場で穴開け、曲げ  
加工を行い24時間体制  
で対応。現場にジャス  
トインタイムで直接出  
荷する邸別出荷を強み  
に4年間で売り上げを  
12億5千万円から25億  
円と倍に伸ばした。

冒頭、神戸社長は同  
社の品質検査体制を強  
調。「検査試験センタ  
ーにあるのと同じ送風  
散水実験装置をわれわ  
れは自社で持ってい  
る。装置がないと、検  
査試験センターに行っ  
て年間6回ほどしか検  
査できないが、年間1  
000回ほど行ってい  
る」という。このため  
「当社に起因した品質  
問題は1件もない」と  
いう。

技術セミナーでは、  
「結露にくい木造住  
宅の造り方」をテーマ  
に神戸社長自ら解説し  
た。モルタルなど建築  
部材の雨漏り、腐食な  
ど具体的事例を使っ  
て、建築物に対する風  
雨の侵入経路に至るま  
で細かく説明した。つ  
いで、同社の製品によ  
るソリューション方法を  
提示した。セミナー後  
半では、昨年11月に設  
立し、神戸社長が理事  
長を務める「住まいの  
屋根換気壁通気研究

会」の座談会を開催。  
座談会（研究会会員  
の坂本雄三建築研究所  
理事長、東京大学名誉教  
授、石川廣三東海大学  
名誉教授、岩前篤近畿  
大学建築学部長教授、  
松尾和也松尾設計室代  
表取締役、神戸社長）  
では「長持ちする住ま  
いとは――居住性と耐  
久性の両立は可能か」  
をテーマに議論した。  
当日は研究会員や関係  
者など約300人が参  
加した。